

～平成20年度決算 説明会～

きよねんの決算 説明資料



日 時：平成21年12月12日(土)

午前10時～正午

場 所：島本町ふれあいセンター ケリヤホール

島 本 町

～ はじめに ～

本町では、住民のみなさまに、役場の仕事や予算及び決算の状況などについて、より理解を深めていただくため、平成 18 年度から予算、決算についての説明会を開催しています。

住民のみなさまの税金がどのように使われているのかなど、できるだけわかりやすく説明をさせていただき、積極的な住民参加のもとで、さらに開かれた町政をめざしてまいりたいと考えています。

本日の「きょねんの決算」の説明会を通じて、住民のみなさまが町政への積極的な参加のもとで、理解をさらに深めていただくことを願っています。

今後とも、町政運営にあたり、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成 21 年 12 月 12 日

島本町長 川 口 裕

目 次

内容	頁番号
平成 20 年度 各会計歳入歳出決算額の状況	1
平成 20 年度一般会計 歳入歳出決算額の内訳	2
経常収支比率の推移、経常一般財源収入と充当支出の推移	3
義務的経費(うち経常経費分)などの推移	4
一般会計 町債残高と積立基金残高の推移	6
各部局の主要な施策・事業内容	7
平成 20 年度 一般会計歳出決算の主な事業内容	14
平成 21 年度予算の状況	20
平成 21 年度一般会計の施策予算及び経済危機対策関連予算などの概要	21

この冊子の末尾に、メモ欄が付いています。

平成 20 年度 各会計歳入歳出決算額の状況

(単位:百万円)

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額	翌年度に繰越すべき財源	実質収支額	基金取崩額	一般会計からの繰入金
一般会計	8,514	8,477	37	13	24	441	-
土地取得事業特別会計	42	42	0	0	0	-	-
国民健康保険事業特別会計	2,820	2,660	160	0	160	60	183
老人保健特別会計	251	259	8	0	8	-	18
後期高齢者医療特別会計	291	283	8	0	8	-	57
介護保険事業特別会計	1,517	1,406	111	0	111	-	251
交通傷害補償特別会計	6	5	1	0	1	-	-
大沢地区特設水道施設事業特別会計	2	2	0	0	0	-	2
公共下水道事業特別会計	1,337	1,310	27	0	27	-	550
各財産区特別会計	187	5	182	-	-	-	-
特別会計小計	6,453	5,972	481				
合計	14,967	14,449	518				

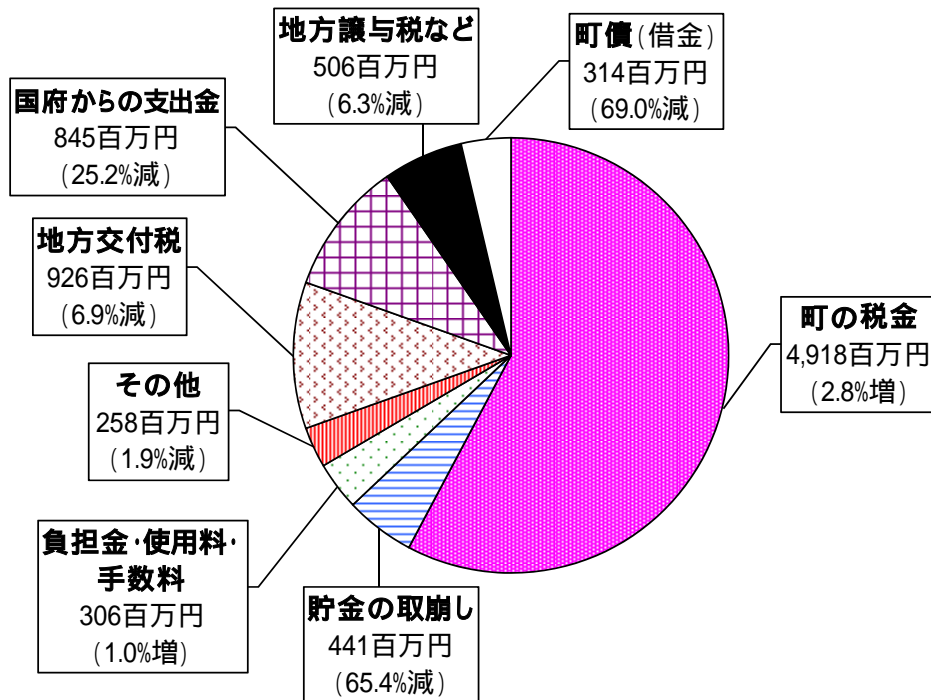
会計名	総収益	総費用	純利益	前年度純利益
水道事業会計	609	534	75	117

注 1) 各項目の数値は、円単位を百万円単位で処理しているため、円単位と一致しない場合があります。

注 2) 「基金取崩額」とは、町の貯金の取り崩し額です。

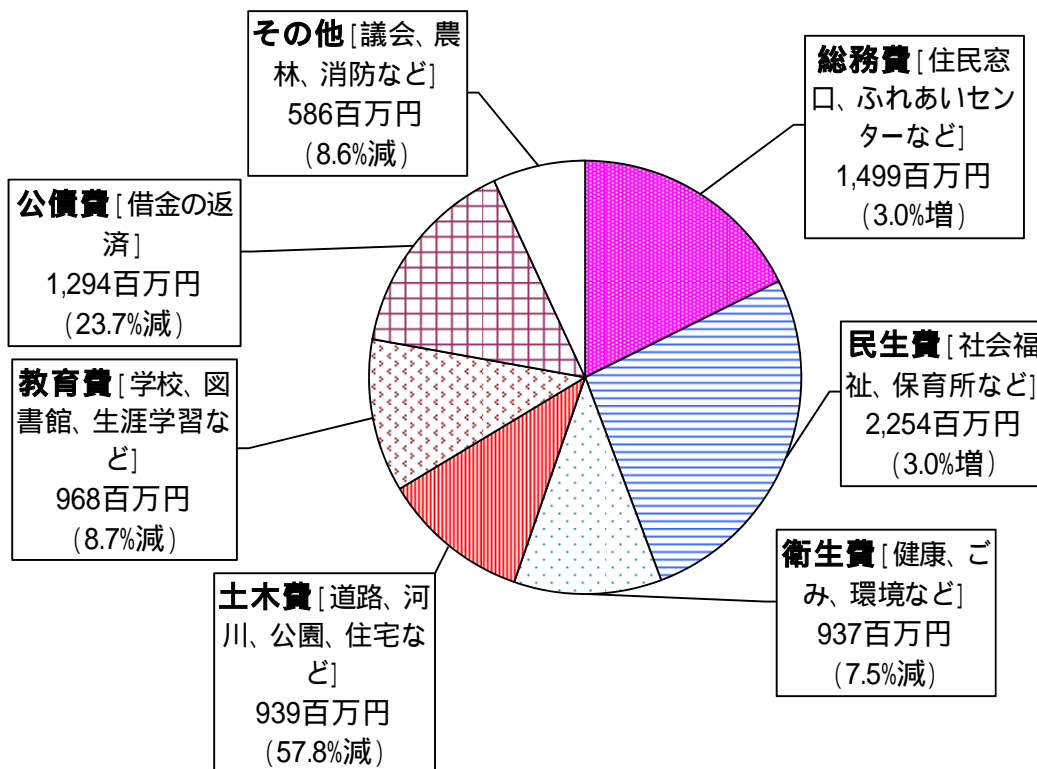
注 3) 「一般会計からの繰入金」とは、一般会計からの資金を繰入れることです。

平成 20 年度一般会計 「歳入」決算額の内訳



()内は対前年度増減率

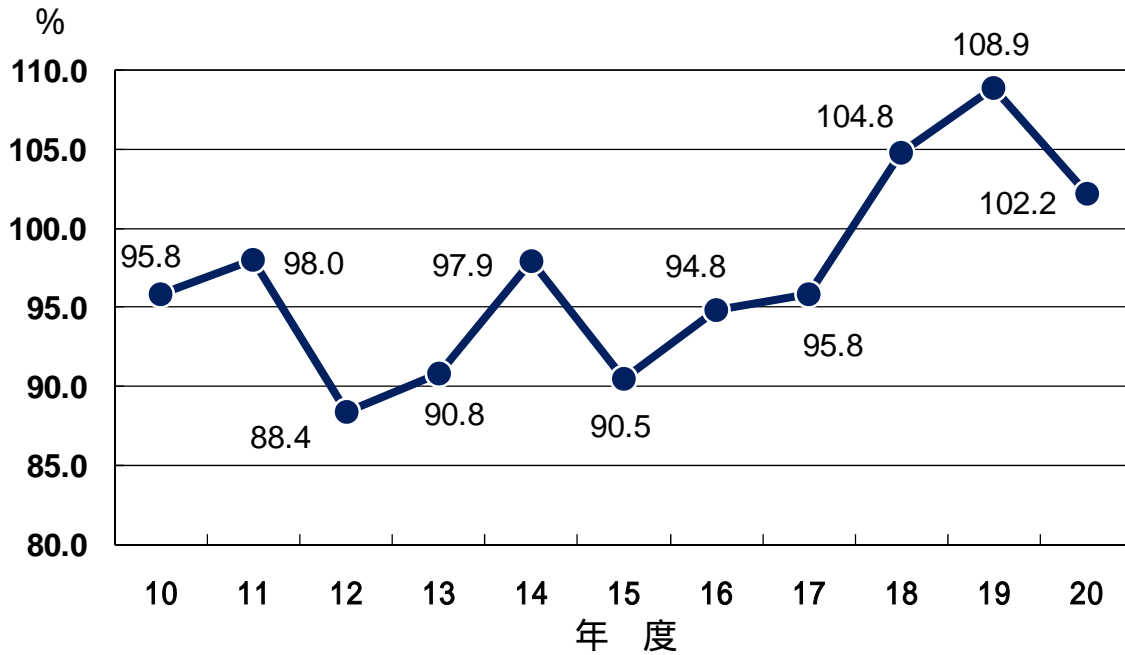
平成 20 年度一般会計 「歳出」決算額の内訳



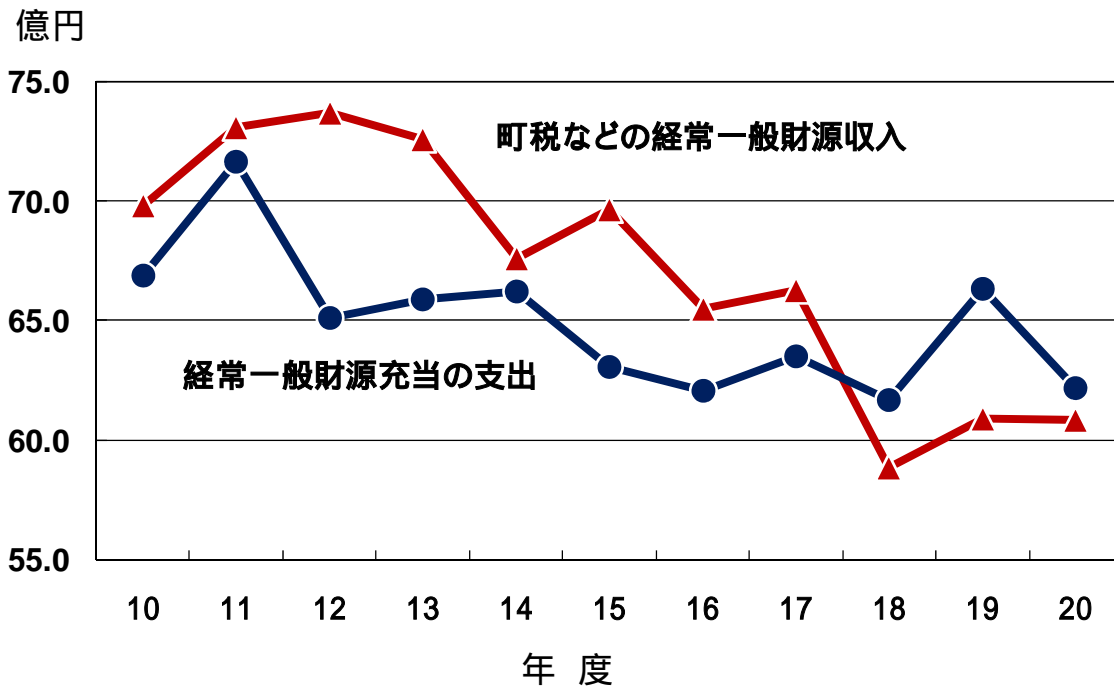
()内は対前年度増減率

経常収支比率の推移

「経常収支比率」とは、人件費、社会福祉経費、借金返済等の容易に減らすことが困難な義務的性格の強い経常的経費に対し、町税、地方交付税、地方消費税交付金等を中心とする経常一般財源収入がどの程度充当されているかを示す比率で、この比率が小さいほど財政構造が弾力的であり、経常余剰財源を臨時の財政需要に使うことができることになります。

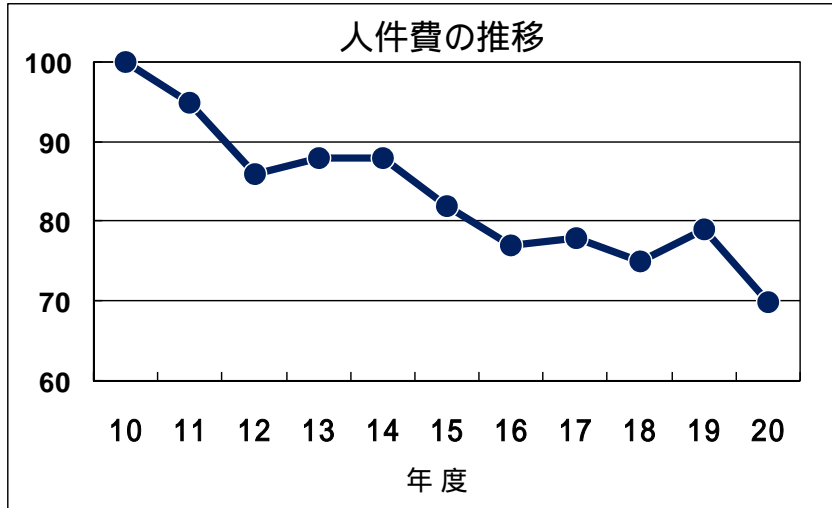


経常一般財源収入と充当支出の推移

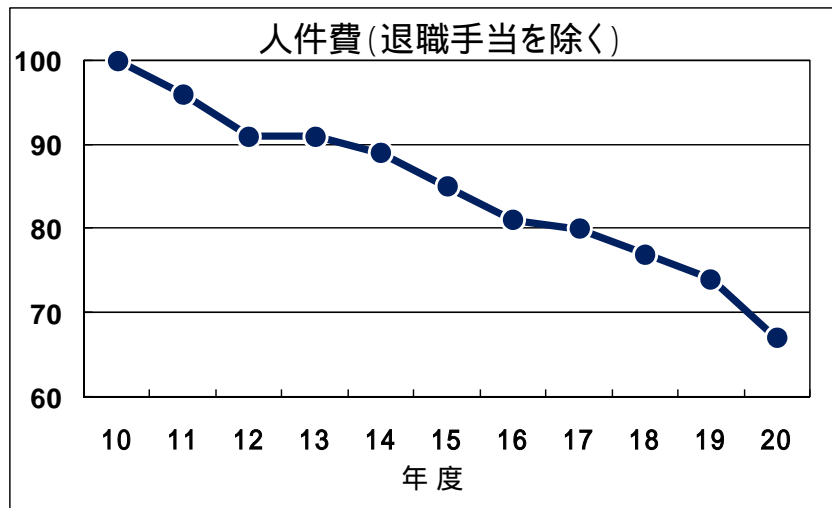


義務的経費(うち經常経費分)などの推移

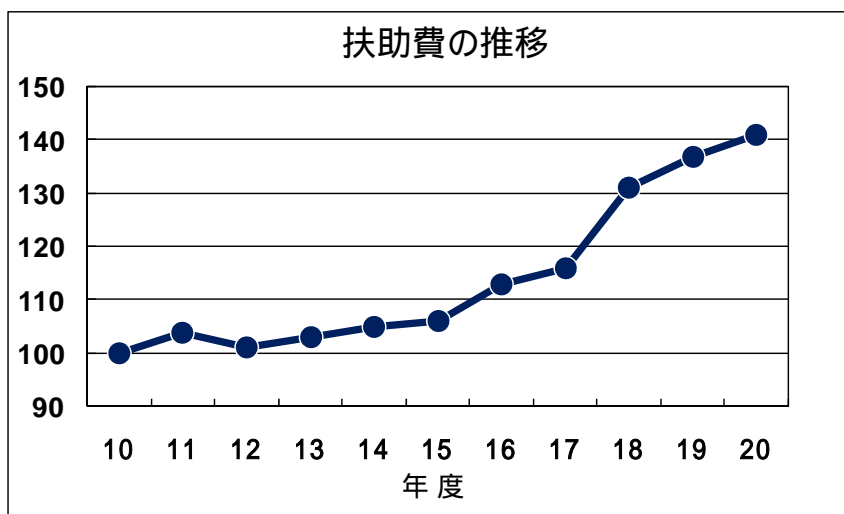
～平成10年度を100とした場合の經常一般財源充当支出～



「人件費」とは、町職員の給与、議員報酬、委員報酬などの支出です。

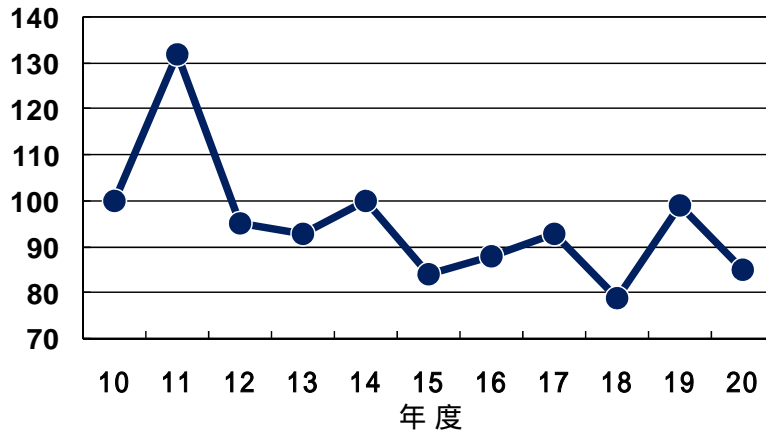


から職員退職手当を除いた人件費です。



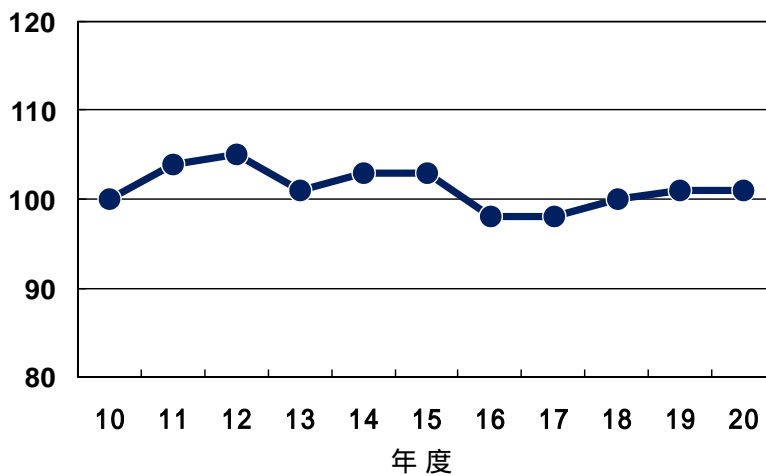
「扶助費」とは、生活保護、児童福祉、高齢者福祉などの社会福祉経費です。

公債費の推移



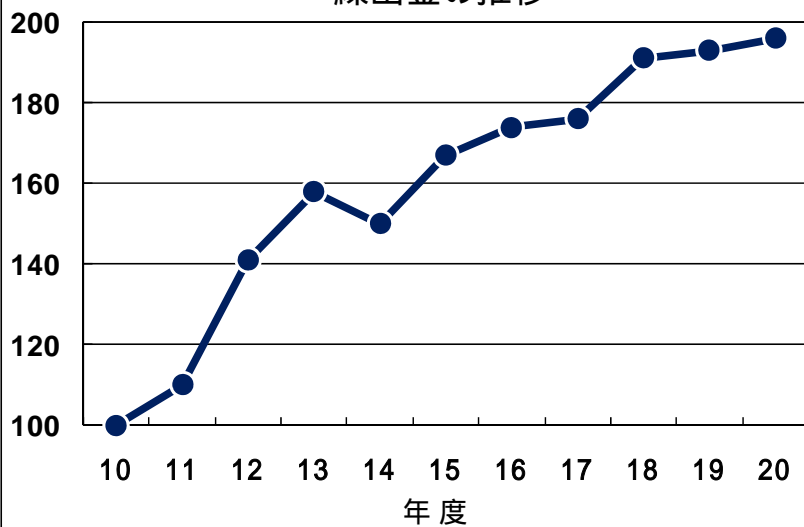
「公債費」とは、町の借金返済に必要な経費です。

物件費の推移



「物件費」とは、光熱水費、消耗品費、旅費、委託料などの経費です。

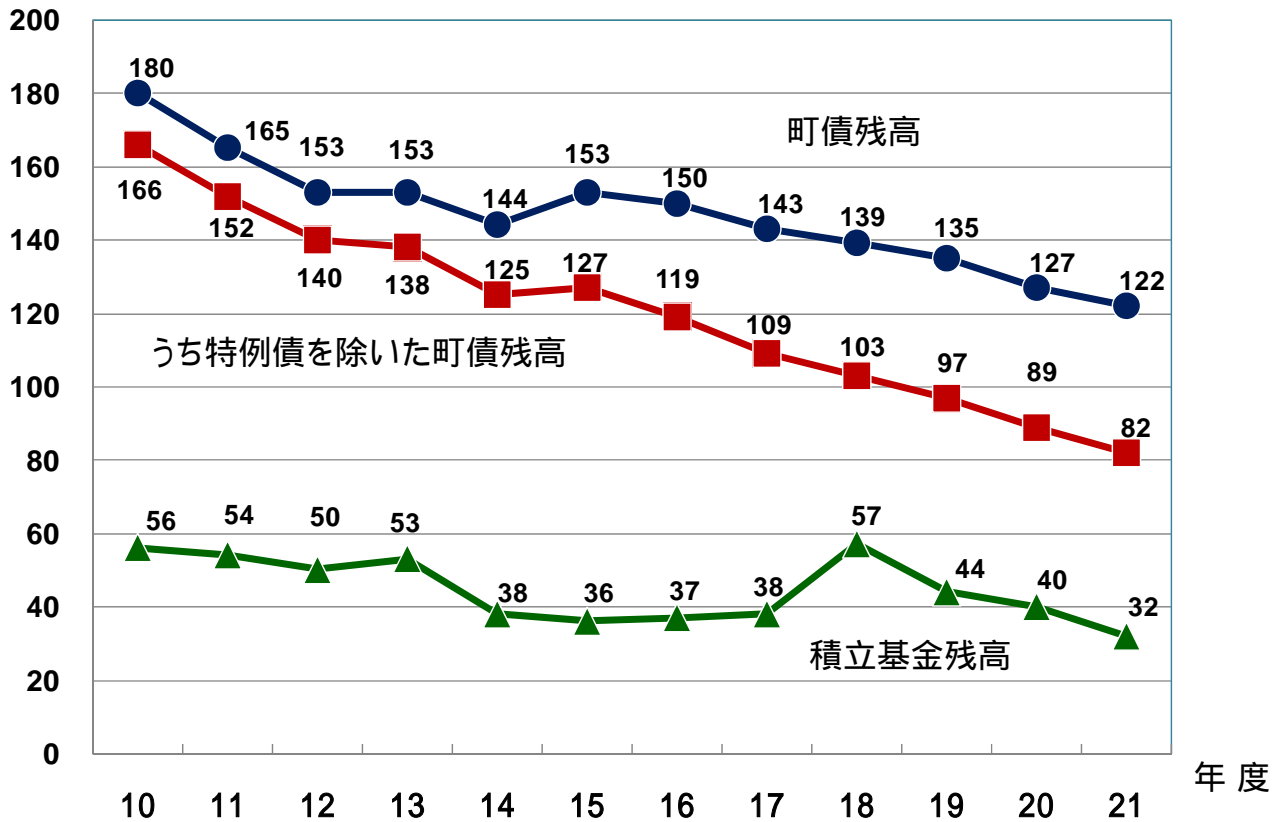
繰出金の推移



「繰出金」とは、国民健康保険、介護保険、後期高齢者、老人保健、公共下水道事業などの各特別会計への支出です。

一般会計 町債残高と積立基金残高の推移

億円



平成 21 年度については、直近の予算に基づく見込み額です。

(各数値の解説)

= 「町債残高」	各年度末の一般会計借金残高です。
= 「うち特例債を除いた町債残高」	減税などの国の制度が実施されたことによる財源不足を国が財政支援するものとされている借金を除いた残高です。
= 「積立基金残高」	町が保有する一般会計積立基金(貯金)の残高です。

各部署の主要な施策・事業内容

「総合政策部」の主な施策・事業内容

平成 20 年度決算

主な施策・事業	平成 20 年度の実績・成果	
人権擁護・平和施策の推進	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 平和意識の高揚を図るため、7 月に「人権と平和のつどい」(映画上映)を開催しました。 ● 人権啓発を図るため、12 月の人権週間には、「人権のつどい」(演奏・講演)と、パネル展を開催しました。
男女共同参画の推進	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 退職後のライフプランニング、父と子の絵本づくりなどをテーマに、「男女共生セミナー」を4講座(全9回)開催しました。 ● 専門のカウンセラーがさまざまな悩みにこたえる「女性相談」を月2回実施しました。 ● 啓発冊子『気づいてください！児童虐待 ドメスティック・バイオレンス』を作成しました。 ● ふれあいセンター3階「女性交流室」の貸出しを行い、女性問題の学習や研修、会合、語らいの場として活用を図りました。
個人情報保護の推進	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● アンケート調査の実施等について、個人情報保護運営審議会を2回開催しました。
第四次島本町総合計画の策定業務	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 第四次島本町総合計画の策定に向け、総合計画審議会に基本構想(案)を諮問し、審議を行いました。
(仮称)島本町まちづくり基本条例の検討	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民参画・協働のまちづくりを進める上で基本的な指針となる「島本町まちづくり基本条例」の策定に向け、(仮称)島本町まちづくり基本条例策定委員会を開催し、条例素案についての調査・検討を行い、素案をまとめました。
環境マネジメントシステム ISO14001 の認証取得の拡大	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● ふれあいセンター、清掃工場、上下水道部庁舎、消防本部庁舎の4施設について、新たにISO14001の認証を取得しました。

平成 21 年度予算

主な施策・事業	平成 21 年度の実績・成果
「人権問題 名作上映会」の開催	<ul style="list-style-type: none"> ● 人権平和資料室の映像資料の貸出促進を図るため、本年6月から、ふれあいセンターで毎月「人権問題 名作上映会」を開催しています。
第四次島本町総合計画の策定業務	<ul style="list-style-type: none"> ● 昨年度に引き続き、第四次島本町総合計画の策定を進めています。 ● 「基本構想」については、7月にパブリックコメントを実施、9月に総合計画審議会からの答申を受け、10月に町議会で議決されました。 ● 今後、「基本計画(案)」の審議を進めていきます。
(仮称)島本町まちづくり基本条例の制定	<ul style="list-style-type: none"> ● (仮称)島本町まちづくり基本条例策定委員会からいただいた条例素案を踏まえ、同条例の制定に向けた準備を進めています。
都市計画マスタープランの見直し	<ul style="list-style-type: none"> ● 土地利用の方針や都市施設のあり方など、都市づくりの基本方針となる「島本町都市計画マスタープラン」の見直しに着手しました。(平成22年度に策定予定)

「総務部」の主な施策・事業内容

平成 20 年度決算

主な施策・事業	平成 20 年度の実績・成果	
勤務評定制度の構築に向けた試行評価の実施	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員の能力や業績を公平公正に評価し、処遇へと反映させる「勤務評定制度」の構築に向け、勤務評定制度の評価者研修について、町独自の評価項目案を設定し、より実践的な研修を行いました。 ● また、対象職員の範囲・実施期間を拡大し、管理職員に対し勤務評定制度の試行実施を行いました。
昇任試験制度の導入	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 公平公正な昇格制度の確立や、職員の自己啓発・自己研鑽による能力向上、能力開発をめざして、「係長級昇任試験」を導入しました。
ホームページのリニューアル	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 迅速な更新と、情報量の拡充を図るため、各担当課でページを作成し、管理するシステムを導入し、平成 21 年 4 月 1 日に町ホームページをリニューアルしました。
ホームページへのバナー広告の掲載	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 収入の確保と、地元企業等の活性化を図ることを目的に、町ホームページへの有料広告(バナー広告)の掲載を開始しました。
防災マップの作成	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 防災マップを作成し、全戸に配布しました。 ● マップには、地震発生時の震度や建物被害度を示した「地震ハザードマップ」、洪水時の浸水範囲などを示した「洪水・土砂災害ハザードマップ」、町内の避難所を示した「避難所マップ」、非常持ち出し品などの情報を掲載しました。
ふれあいセンターに指定管理者制度を導入	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様化する住民ニーズに対応し、利便性の向上を図るとともに、より効果的・効率的な施設運営を行うため、平成 20 年 12 月 1 日から、ふれあいセンターに「指定管理者制度」を導入しました。

平成 21 年度予算

主な施策・事業	平成 21 年度の取組み内容
勤務評定制度の導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 21 年 4 月から、管理職に対し勤務評定制度を本格導入しました。 ● 一般職については、早期の導入に向け、引き続き試行評価を実施します。
地域防災計画の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害に強いまちづくりを進めるため、町の防災対策の基本計画となる「島本町地域防災計画」を見直します。
「しまもとガイドマップ」の増刷	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 20 年 3 月の JR 島本駅開業に併せて作成した「しまもとガイドマップ」の地図データ等を更新し、増刷します。
「町勢要覧」の刷新	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 9 年 3 月に作成した「町勢要覧」を刷新し、町内外への PR に努めます。

「民生部」の主な施策・事業内容

平成 20 年度決算

主な施策・事業	平成 20 年度の実績・成果	
地域福祉の推進	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 21 年 3 月に、「第 2 期島本町地域福祉計画」を策定しました。(計画期間:平成 21～25 年度)
障害者施策の推進	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 21 年 3 月に、「第 2 期島本町障害福祉計画」を策定しました。(計画期間:平成 21～23 年度)
妊婦健康診査の拡充	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 妊娠・出産にかかる経済的不安の軽減を図るため、「妊婦健康診査」の公費助成を、平成 19 年度までの 1 回から、3 回に拡充しました。(里帰り出産など、府外での受診の場合も、公費助成の対象としました)
町立第二保育所の 民営化の推進	継続中	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 18 年 12 月に発表した「就学前の子どもの教育と保育環境の整備について」の基本方針は、住民福祉審議会の議論を踏まえ、平成 20 年度の実施は見送りました。 ● しかし、地方財政を取り巻く環境は依然として厳しいことから、保育所民営化は避けられないとの認識のもと、引き続き検討を行いました。
「つどいの広場」事業 の実施	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 20 年 5 月、民間法人の運営による「つどいの広場」(ぱんだのいえ)を開設しました。 ● 子育て中の保護者と子どもが気軽に集い、交流する場として、また、相談支援や講習会の開催、情報発信など、地域の子育て支援の拠点として活用されています。
介護保険事業の推進	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 第 3 期介護保険事業計画に基づき、事業の推進を図るとともに、公平性の観点から給付の適正化を行いました。
介護予防事業の拡充	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護予防事業として、筋力づくり運動を行う「いきいき百歳体操」と、口腔機能の向上を図る「かみかみ百歳体操」の普及を図りました。 ● 各地域の実施場所は、平成 20 年度末時点で 26 か所に増加しています。(第 3 期介護保険事業計画による目標は 20 か所)
長寿医療制度(後期高齢者医療制度)の推進	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 大阪府後期高齢者医療広域連合と連携を図りながら、保険料の賦課徴収、各種申請の届出の受付、制度に関する相談などの窓口業務を行うとともに、均等割の 8.5 割軽減などの特別対策の周知に努めました。
特定健診・特定保健指導 の実施	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活習慣病の予防をめざした特定健診・特定保健指導について、被保険者に対する周知を図り、健診や保健指導を実施しました。

平成 21 年度予算

主な施策・事業	平成 21 年度の実績・成果
母子福祉施策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 17 年 3 月に策定した「島本町母子家庭等自立促進計画」の見直しを行います。
妊婦健康診査の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ● 妊婦健康診査の公費助成を、平成 20 年度までの 3 回から、14 回に拡充しています。(里帰り出産など、府外での受診分も引き続き公費助成の対象とします)

「次世代育成支援対策行動計画後期計画」の策定	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 20 年度に実施した子育て支援にかかるニーズ調査等の分析結果などをもとに、「次世代育成支援対策行動計画後期計画」を策定します。(計画期間:平成 22～26 年度)
町立第二保育所の民営化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 町立第二保育所の民営化、町立第一幼稚園の幼保一元化、町立保育所を拠点とした子育て支援の拡大について、保護者のご意見をいただきながら、円滑な事業執行に努めます。
介護保険事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 21 年度から、介護保険料の標準負担月額を 4,250 円から 3,960 円に引き下げました。これは、町の介護保険給付準備基金の取り崩しと、国の介護従事者処遇改善臨時特例交付金により可能となったものです。 ● 今後は、平成 21 年 3 月に策定した「第 4 期介護保険事業計画」に基づき、事業の推進を図るとともに、公平性の観点から給付の適正化を行っていきます。
介護予防事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民主体による「いきいき百歳体操」、「かみかみ百歳体操」の参加者増加をめざし、広報紙やホームページを通じて啓発に努めます。
国民健康保険事業の運営	<ul style="list-style-type: none"> ● 国民健康保険の財政は、依然として厳しい状況が続いていますが、国民健康保険料については、現下の厳しい社会経済情勢、被保険者の経済状況等を考慮し、介護納付金賦課限度額を据え置き、一人当たりの年間保険料を据え置くことを前提に保険料を設定しています。

「都市環境部」の主な施策・事業内容

平成 20 年度決算

主な施策・事業	平成 20 年度の実績・成果	
「住民地域環境調査」の実施	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 19 年度に実施した「しまもと環境まちづくりセミナー」の継続事業として、将来の環境基本計画の基礎資料に役立てるほか、参加者の環境意識の高揚を目的として、「住民地域環境調査」を実施しました。(全 10 回、参加者延べ 295 人)
清掃工場、衛生化学処理場の維持・補修	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 本町の清掃工場は、多額の費用をかけてダイオキシン対策などの整備を行ってきましたが、完成以来すでに 18 年が経過しており、老朽化も進んでいます。このため、平成 20 年度は、ごみ焼却設備や、排ガス処理設備などの補修を実施し、長時間の使用に支障が生じないように施設整備を進めました。 ● また、高槻市内にある衛生化学処理場についても、稼働後 43 年が経過し、老朽化が著しく、付近住民の撤去要望や費用対効果等の面からも大規模な改修工事は難しい状況です。平成 20 年度は、施設の最小限度の維持・補修を行っています。
JR 島本駅設置事業の推進	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 20 年 3 月 15 日に開業した JR 島本駅については、駅西側の「町道桜井 50 号線」が全線通行可能となり、関連事業の整備はほぼ完了しました。
阪急水無瀬駅バリアフリー化設備整備への補助	継続中	阪急水無瀬駅のバリアフリー化事業に対して、「島本町鉄道駅バリアフリー化設備整備補助交付要綱」に基づき補助を行い、事業者が整備工事に着手しました。(平成 22 年度に完成予定)

交通安全の確保	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 「島本町自転車等放置防止に関する条例」に基づき、阪急水無瀬駅、JR島本駅及びJR山崎駅周辺を放置禁止区域に指定し、平成20年10月1日から撤去した自転車等の移動・保管料を徴収しました。 ● また「(財)自転車駐輪場整備センター」が平成21年4月1日に、有料の「水無瀬駅自転車駐輪場」をオープンしました。
---------	----	--

平成21年度予算

主な施策・事業	平成21年度の実績・成果
一般廃棄物処理基本計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ● 「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」及び「生活排水処理基本計画」の見直しを行います。
清掃工場、衛生化学処理場の維持・補修	<ul style="list-style-type: none"> ● 清掃工場は、設置後18年が経過し、老朽化が進んでいますが、新たな建て替え更新は事実上不可能に近い状況です。このため、ごみ処理広域化については、機会あるごとに可能性の模索などを行っていますが、思うようには進んでいないのが現状です。これらの状況から、現在の清掃工場を1日でも長く使用できるよう、本年度も重点的な維持・補修に努めます。 ● 衛生化学処理場は、著しい老朽化の進行とともに、高槻市の周辺自治会からも強い撤去要望が出されています。処理設備が一系列しかない現在の衛生化学処理場の現状を考えると、広域的な処理や、し尿の公共下水道への放流のための中間処理施設の建設などを早急に検討する時期にきています。本年度はこれらの状況も踏まえ、最小限度の維持・補修に努めます。
(仮称)尺代5号線の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 尺代地区の緊急避難道路の整備について、本格的に事業に着手します。
バリアフリー化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成21年度の阪急水無瀬駅のバリアフリー化事業は、河原町方面行きホームへのエレベーターの設置、多機能トイレ新設及び駅舎改築などが行われる予定です。 ● また、JR島本駅から役場までの歩道のバリアフリー整備を行います。
消費者相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成21年8月から、消費者相談を週2日から3日に拡大しています。 ● また、消費生活専門相談員のレベルアップなど、消費者相談の機能強化を図ります。 ● 12月から、相談会場をふれあいセンターに移転しました。

「上下水道部」の主な施策・事業内容

平成20年度決算

主な施策・事業	平成20年度の実績・成果
さく井の適正な維持管理	<p>実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各井戸の適正な維持管理を行うため、溝田、馬渡、長田水源井のポンプの入替えを実施するとともに、天薬、堀込、大藪3号、水無瀬、国木原、鳥合の各水源井の揚水試験を実施し、限界揚水量及び適正揚水量の把握を行いました。

浄水場ろ過池更新工事の実施	継続中	● より良質な水道水の安定供給に向け、老朽化した現有施設を撤去し、新たに1日の浄水処理能力が12,000立方メートルの「急速ろ過池」を、平成20年度から2か年をかけて整備中です。
公共下水道の整備	実施	● 平成20年度は、東大寺二丁目・四丁目、若山台二丁目、山崎四丁目の一部、約6ヘクタールの供用を開始しました。これにより、事業認可区域約294ヘクタールのうち、約271ヘクタールが整備済みとなり、人口普及率は、約89.6%となっています。
下水道施設の耐震化等の実施	実施	● 下水道施設の耐震化の必要性や、施設の耐震化箇所の確認を行い、緊急整備計画を策定しました。

平成21年度予算

主な施策・事業	平成21年度の実績・成果
水道施設の耐震化等の実施	● 災害時の給水拠点を確保するため、第三低区配水池の耐震化補強工事を行います。
浄水場ろ過池更新工事の実施	● 平成20年度に引き続き、大藪浄水場のろ過池更新工事を実施します。
公共下水道の整備	● 平成21年度は、東大寺二丁目、山崎四丁目の整備を行います。
下水道施設の耐震化等の実施	● 災害時の一次避難地である「山崎ポンプ場」の耐震診断及び長寿命化計画の策定に向けた現場調査を行います。

「消防本部」の主な施策・事業内容

平成20年度決算

主な施策・事業	平成20年度の実績・成果
救急救命士養成課程等への派遣	● 高規格救急自動車への常時2名の救急救命士乗車をめざし、府立消防学校の救急救命士養成課程へ消防職員1名を派遣するとともに、救急救命士の処置の拡大に伴う気管挿管病院実習へ2名、薬剤投与病院実習へ1名を派遣しました。
消防団員幹部教養の実施	● 救命率の向上を図るため、消防団員の教養訓練の一環として、普通救命講習を実施しました。

平成21年度予算

主な施策・事業	平成21年度の実施予定
傷病者の救命率の向上	● 救急救命士の養成及び技術等の向上、応急手当の普及啓発を推進し、傷病者の救命率の向上に努めます。
火災予防思想の普及啓発	● 「火災ゼロの町」をめざし、一般住宅の防火診断、巡回広報、地域による消防訓練を積極的に進めるとともに、一般住宅に設置する「住宅用火災警報器」の普及啓発に努めます。
災害への対応力の強化	● 消防団とのさらなる連携を進めるとともに、消防職員・消防団員の資質向上に努め、各種災害への対応力の強化を図ります。

「教育委員会事務局」の主な施策・事業内容

平成 20 年度決算

主な施策・事業	平成 20 年度の実績・成果	
第二小学校多目的室整備工事の実施	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 第二小学校において、学習スタイルの変化に幅広く活用できるランチルームを兼ねた多目的室整備工事を行いました。
第二小学校の給食業務一部民間委託の実施	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 特色ある学校給食の推進、円滑かつ効率的な給食業務の運営を図るため、第二小学校の給食業務の一部民間委託を行いました。
幼・小・中一貫教育の推進	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 小中学校の教職員交流をはじめとして、相互授業参観、合同行事や全体研修会など、町全体の学校、幼稚園がスムーズに繋がるための取り組みを進めました。
文化財保護事業の推進	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 20 年 7 月に文化財保護条例を施行しました。 ● これを受けて、文化財保護審議会委員を委嘱し、島本町の文化財の調査・審議を進め、平成 21 年 4 月に島本町指定文化財第 1 号として「水無瀬駒 関連資料」を指定しました。
歴史文化資料館管理運営事業の推進	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 町立歴史文化資料館を平成 20 年 4 月 12 日に正式開館しました。 ● 企画展のほか、講演会やコンサートなどの催しを開催し、入館者の増加に努めました。(年間入館者数 14,762 人)
史跡桜井駅跡整備事業の推進	実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 20 年 7 月 24 日に、大阪府から史跡桜井駅跡の無償譲渡を受けました。 ● 史跡桜井駅跡整備工事は、JR 島本駅開業に向けて、平成 19 年度に第 1 期工事を終え、平成 20 年度には第 2 期工事を実施し、散策道と夜間照明を整備しました。
第一幼稚園の就労支援型幼稚園(幼保一元化)への推進	継続中	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成 18 年 12 月に発表した「就学前の子どもの教育と保育環境の整備について」の基本方針の目標年次である平成 20 年 4 月実施に向け、第一幼稚園を就労支援型幼稚園の開設に向けた整備等について協議、調整を行いました。平成 20 年度の実施は見送りました。 ● 引き続き、実施に向けて協議、検討を進めます。

平成 21 年度予算

主な施策・事業	平成 21 年度の取組み内容
耐震化を進めるため耐震診断の実施	<ul style="list-style-type: none"> ● 耐震補強事業を進めるため、第一・第三小学校校舎の耐震診断を実施します。
文化財保護事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 4 月に島本町指定文化財第 1 号に指定した「水無瀬駒 関連資料」の活用を図り、11 月には町立歴史文化資料館の企画展において実物の展示を行うとともに、「水無瀬駒」の解説冊子も発行しました。 ● 今後も、町指定文化財の候補物件の調査を進めます。

平成 20 年度 一般会計歳出決算の主な事業内容

1. 人間尊重

(単位:万円)

区分	事業内容	20年度	19年度	増減額
人権行政 1,199 万円	人権啓発(審議会・講演会の開催、啓発パンフレット作成)	249	323	74
	人権文化センターの管理運営	479	1,877	1,398
	社会啓発(ふれあい夜店、人権ケースワーク事業、地域人権協会補助)	399	537	138
	人権啓発推進協議会助成	72	72	0
平和意識の高揚 53 万円	平和啓発(映画上映、平和ツアーの実施)	53	59	6
男女共同参画 123 万円	男女共生セミナーの実施、啓発冊子作成、職員相談、女性相談事業	123	132	9

2. 自然環境の保全と都市環境

区分	事業内容	20年度	19年度	増減額
自然環境の保全・活用 926 万円	森林保全整備	770	543	227
	地下水観測井水位測定、調査補助	156	209	53
環境保全 1,413 万円	環境マネジメントシステムISO14001の推進	110	84	26
	河川等水質測定、騒音測定、排ガス分析	506	574	68
	地球温暖化対策	87	89	2
	大気汚染物質の観測	337	499	162
	環境教育の推進(水質環境モニタリング、ホタル育成、不法投棄ごみ防止パトロール)	373	362	11
ごみ処理・し尿処理 48,391 万円	ごみ処理事業(町内の美化推進含む)	38,181	37,322	859
	し尿処理事業(生活排水対策含む)	10,210	10,103	107

3. 災害に強いまちづくり

区分	事業内容	20年度	19年度	増減額
防災対策 819 万円	自主防災組織の育成、コミュニティ助成、防災用備蓄	477	501	24
	防災行政無線の維持管理	255	272	17
	防災訓練の実施	87	128	41
治山・治水 1,612 万円	土砂災害情報相互通報システムの維持管理	544	508	36
	河川維持、雨水対策、水路改修	1,068	1,197	129

4. 消防・救急・救助

区分	事業内容	20年度	19年度	増減額
消防・救急体制の充実 4,588 万円	消防団活動	1,942	1,909	33
	常備消防活動	2,324	2,132	192
	消防施設の整備	53	242	189
	救急救助活動	269	224	45

5. 交通安全・防犯

(単位:万円)

区分	事業内容	20年度	19年度	増減額
交通安全・防犯対策 2,821 万円	交通安全施設の設置、不法駐輪指導、山崎駅自転車 駐車場使用負担金	1,451	1,372	79
	防犯対策の推進(警察署管内防犯協議会、街路灯管理助成)	166	172	6
	防犯灯の設置及び維持管理	1,029	1,040	11
	学校(園)における防犯体制の強化(メロディパトロールほか)	150	163	13
	緊急情報メールの配信	25	25	0

6. 農業・林業・商工・労働

区分	事業内容	20年度	19年度	増減額
農業・林業・商工・労働 6,507 万円	農業関係(農業振興、農業土木)	5,206	7,350	2,144
	林業関係(町有林の管理、大阪府環状自然歩道の管理)	244	264	20
	商工関係(商工会助成、中小企業融資預託)	803	846	43
	就労関係(地域就労支援など)	254	310	56

7. 自律・創造・協働

区分	事業内容	20年度	19年度	増減額
住民参加・参画 1,233 万円	広報「しまもと」作成・配布、ホームページによる情報提 供、ホームページの作成・管理システムの導入	1,233	941	292

8. まちの基盤整備

区分	事業内容	20年度	19年度	増減額
土地利用 75 万円	各種協議会	75	86	11
交通体系 13,744 万円	JR島本駅設置事業	10,843	136,748	125,905
	道路整備、町道高浜7号線用地測量	2,901	1,901	1,000
上下水道の整備 55,182 万円	公共下水道事業特別会計繰出し	55,000	55,500	500
	大沢地区特設水道施設事業特別会計繰出し	182	220	38

9. 保健・医療・地域福祉

(単位:万円)

区分	事業内容	20年度	19年度	増減額
健康づくり 5,287 万円	各種検診、健康相談	3,879	5,142	1,263
	母子健康診査、健康教育、育児相談、妊婦一般健診 公費負担、出会いの絵本事業、訪問指導、歯科健診	1,408	1,093	315
医療体制など 55,459 万円	三島救命救急センター運営補助、二次救急圏域 市町負担、高槻島本夜間休日応急診療所運営負担	10,139	10,375	236
	予防接種事業	3,025	2,505	520
	国民健康保険事業特別会計・老人保健特別会計・後 期高齢者医療特別会計繰出し	42,295	42,538	243
地域福祉 34,036 万円	地域福祉推進事業(社会福祉協議会運営助成、福祉 大会・ふれあい広場の開催など)	4,309	4,224	85
	福祉対策事業(町規格葬儀、各種福祉金、各種助成制度)	2,996	2,924	72
	地域福祉計画・保健福祉計画・介護保険事業計画・ 障害福祉計画の見直し	701	164	537
	生活保護	14,612	12,796	1,816
	医療助成(年長者・障害者・ひとり親家庭・乳幼児)	11,418	11,456	38

10. 子育て支援

区分	事業内容	20年度	19年度	増減額
子育ての環境づくり 71,198 万円	学童保育室の運営	5,113	4,975	138
	山崎保育園運営助成	17,355	16,574	781
	保育所の運営	18,758	17,082	1,676
	保育所システム管理	77	324	247
	子育てニーズ調査	53	0	53
	地域子育て支援・子育て短期支援	523	496	27
	児童虐待問題相談	246	261	15
	児童手当・児童扶養手当	29,073	27,856	1,217
施設の充実 637 万円	保育所施設整備	637	786	149
ひとり親家庭支援 106 万円	ひとり親家庭自立支援教育訓練助成など	106	116	10

11. 介護・高齢者支援

(単位:万円)

区分	事業内容	20年度	19年度	増減額
介護支援 25,098 万円	介護保険事業特別会計繰出し	25,095	24,142	953
	社会福祉法人等利用者負担助成	3	3	0
高齢者支援 4,670 万円	年長者援護施設入所措置、年長者クラブ助成、健康と生きがいづくり推進事業	986	865	121
	シルバー人材センター運営助成	606	595	11
	やすらぎ号の運行	483	483	0
	緊急通報装置設置・基本料金助成、祝金事業、住宅改造助成、給食・配食サービスなど	2,360	2,308	52
	年長者教室など	235	246	11

12. 障害者(児)支援

区分	事業内容	20年度	19年度	増減額
自立と参加の支援 20,601 万円	知的障害者・身体障害者(通所)施設訓練等支援、心身障害者雇用奨励金等の障害者更生援護事業	8,585	7,153	1,432
	居宅介護、移動支援、共同生活介護・援助、短期入所介護、日中一時支援等の在宅障害者援護事業	11,711	9,916	1,795
	機能回復訓練事業、障害者自立支援事業	305	534	229
支援体制の強化 279 万円	奉仕員養成、小地域ネットワーク活動の推進	279	306	27
施設の整備 8,577 万円	やまぶき園運営	7,662	6,889	773
	障害者福祉作業所運営補助	556	556	0
	障害者小規模通所授産施設運営補助	359	1,184	825

13. すべての人にやさしいまちづくり

区分	事業内容	20年度	19年度	増減額
すべての人に やさしいまちづくり 2,814 万円	外出支援サービス	592	492	100
	水無瀬駅バリアフリー化事業	2,222	0	2,222

14. 学校教育

(単位:万円)

区分	事業内容	20年度	19年度	増減額
幼児教育 4,206 万円	幼稚園の管理運営	2,653	2,678	25
	通園バスの運行	293	302	9
	教育振興	136	242	106
	就園奨励補助	976	832	144
	預かり保育	148	291	143
小学校 25,017 万円	小学校の管理運営	11,374	12,969	1,595
	施設整備(第二小学校多目的室等整備、第三小学校学童保育室整備、第三小学校屋上防水等改修)	4,952	5,709	757
	コンピューター管理	789	895	106
	教育振興	728	716	12
	給食の実施	5,408	4,973	435
	就学援助	1,766	1,788	22
中学校 8,309 万円	中学校の管理運営	4,987	5,508	521
	施設整備(第一中学校ガス管改修工事)	1,089	399	690
	コンピューター管理	841	1,136	295
	教育振興	558	572	14
	就学援助	834	978	144
その他 4,503 万円	英語活動の推進(英語特区事業)	3,311	3,389	78
	学習状況調査の実施	161	169	8
	教育センターの管理	351	362	11
	研究学校推進事業	116	59	57
	スクールカウンセラー、適応指導、特別支援教育相談事業	219	218	1
	奨学金貸付	40	19	21
	各種団体補助	185	201	16
地域教育力活性化事業	120	123	3	

15. スポーツ・レクリエーション及び文化・芸術の振興

区分	事業内容	20年度	19年度	増減額
スポーツ・レクリエーション 4,168 万円	各種教室の開催、町民スポーツ祭など	626	714	88
	体育館の管理運営	2,169	2,124	45
	プールの管理運営	1,067	1,688	621
	学校教育施設の開放	138	136	2
	キャンプ場の管理	168	116	52
文化・芸術 3,388 万円	文化祭の開催	268	298	30
	各種教室・講座の開催、ふれあい劇場、映画上映	599	791	192
	文化財の保護	514	595	81
	歴史文化資料館の維持管理	577	519	58
	史跡桜井駅跡の整備	1,430	1,686	256
図書館の運営 3,200 万円	図書館の管理運営	3,200	3,268	68

16. 地方分権・地域主体形成

(単位:万円)

区分	事業内容	20年度	19年度	増減額
地方分権	第4次島本町総合計画の策定	92	0	92
地域主体形成 162万円	まちづくり基本条例の策定	70	0	70

17. 情報基盤の整備

区分	事業内容	20年度	19年度	増減額
IT化の推進 8,021万円	庁内LAN、電算システムの管理運営	5,858	5,981	123
	行政情報化事業	1,270	993	277
	住民基本台帳ネットワークシステムの管理	893	938	45
ケーブルテレビの活用 1,786万円	ケーブルテレビ番組による行政情報の提供	1,786	1,786	0

18. その他

区分	事業内容	20年度	19年度	増減額
本庁舎の管理 7,142万円	庁舎維持管理	5,378	6,339	961
	庁舎の整備	1,764	482	1,282
ふれあいセンター管理 12,195万円	ふれあいセンター維持管理	12,195	12,132	63
統計調査 166万円	工業統計調査	8	9	1
	住宅土地統計調査	156	0	156
	経済センサス調査区設定	2	0	2
選挙 364万円	町長及び町議会議員選挙	354	0	354
	選挙常時啓発	10	15	5
アスベスト対策 170万円	町有施設アスベスト調査	170	0	170
災害復旧 533万円	災害復旧事業	533	0	533
その他 449万円	定額給付金事業	449	0	449

平成 21 年度予算の状況

平成21年11月末現在

(単位:百万円、%)

会 計 名	平成21年度 現計予算額	平成21年度施策 予算後予算額	平成20年度 当初予算額	増減率 /
一般会計	8,859	8,490	8,560	0.8
土地取得事業特別会計	272	272	272	-
国民健康保険事業特別会計	3,104	2,743	2,608	5.2
老人保健特別会計	85	85	331	74.3
後期高齢者医療特別会計	359	349	329	6.1
介護保険事業特別会計	1,597	1,496	1,481	1.0
交通傷害補償特別会計	10	8	9	11.1
大沢地区特設水道施設事業特別会計	3	3	3	0.0
公共下水道事業特別会計	1,269	1,269	1,344	5.6
各財産区特別会計	6	6	6	-
水道事業会計	1,305	1,299	1,134	14.6
合 計	16,869	16,020	16,077	0.4

注 1) 各項目について、千円単位を百万円単位で処理しているため、千円単位と一致しない場合があります。

注 2) 財産区特別会計は歳出予算額を、水道事業会計は事業費用と資本的支出の合計額を表示しています。

平成 21 年度一般会計の施策予算及び経済危機対策関連予算などの概要

平成 21 年度は、町長及び町議会議員選挙が行われたため、当初予算は施策的経費を除いた経常経費のみを計上し、選挙後に行われた町議会定例会において、施策予算に係る事業費を増額するとともに、国の補正予算で計上された経済危機対策、雇用対策、安全安心の確保などの事業費についても増額しました。

なお、下記項目につきましては、平成 21 年 11 月末時点までの主な補正予算の内容です。
厳しい財政状況の中であっても、積極的に事業が展開できるよう予算措置したものです。

【経済危機対策】 1億1,404万円

地球温暖化対策
ふれあいセンター空調改修事業
安全安心の実現
生活関連道路バリアフリー化事業、都市公園等施設整備事業、新型インフルエンザ対策支援事業
その他
清掃工場施設補修事業、小中学校の電子黒板機能付きデジタルテレビ設置

【雇用対策】 2,324万円

森林管理台帳等整備事業
美化活動等事業
各種台帳整理事業
防火対象物情報電子化事業
ひとり暮らし高齢者把握事業
生活保護事務
妊婦一般健康診査公費負担拡充事務
○文化財保護事業
その他事務補助

【自然環境を生かした個性と活力のあるまちづくり】 910万円

森林ボランティア育成、森林保全整備
生活排水処理基本計画、一般廃棄物処理基本計画の策定

【住民参加による住民と行政の協働したまちづくり】 505万円

自主防災組織育成補助、防災資機材等整備補助
都市計画マスタープラン見直し

【安全で安心して暮らせる豊かな住環境のあるまちづくり】 4,320万円

地域防災計画見直し業務
消費者相談の拡充(週2回から3回に)
民間建築物耐震改修補助金の新設
町の補助制度に、耐震工事費用を追加
その他道路、水路整備など
中溝水路補修工事、長畑水路ゲート整備負担金、町道高浜7号線外設計業務、
消防救助器具更新、(仮称)尺代5号線道路整備事業、広瀬桜井幹線冠水警報板設置事業

【保健・医療・福祉の充実したともを支えあうまちづくり】 4,704万円

高齢者虐待措置入所
ひとり暮らし高齢者把握事業
妊婦一般健康診査公費負担の拡充(5回から14回に)
女性特有のがん検診公費負担
新型インフルエンザ接種助成事業
その他施設整備など
保育所施設整備、保育所・幼稚園にAED(自動体外式除細動器)設置、介護保険事業システム改修

【教育の充実したまちづくり】 4,069万円

小中学校理科教育設備などの充実
小学校校舎耐震診断(第1、3小学校)
第四小学校便所改修設計業務
学校電力施設整備改修(全小・中学校)
図書館図書の実(ふるさと島本応援寄附金の活用)

メモ用

A large rectangular area with a solid top border and a solid bottom border, containing 20 horizontal dashed lines for writing.

メモ用

A large rectangular area with a solid black border. Inside, there are 20 horizontal dashed lines spaced evenly, creating a grid for writing notes. The text 'メモ用' is located at the top left corner of this area.